

発言順位	5 番
------	-----

三島市議会議員 15 番 高田 康子

質問事項 1	災害時のトイレトレーラー等の導入について
具体的内容	
<p>国が令和7年3月に公表した南海トラフ巨大地震の新たな被害想定において、静岡県は甚大な被害が見込まれる地域と位置づけられています。静岡県の最大震度は6強、地域によっては液状化や家屋倒壊、想定死者数は約10万3千人と試算され、県内の災害リスクが従来想定よりも高まったことは、周知の事実だと思います。10万3千人は三島市の人口とほぼ同じです。建物被害はおおよそ、69万棟とも言われています。その数値は前回の被害想定より、大幅に増加しており、被害の深刻さが改めて明らかになりました。</p>	
<p>1 三島市の現状、避難所・備蓄トイレ等災害用トイレの備蓄の数、マンホールトイレなどの数と、準備にかかる日数、一基当たり何人を想定しているのか。</p> <p>2 三島市としてトイレトレーラーやトイレトラックの必要性についてどのように認識しているのか。</p> <p>3 三島市として、トイレトレーラー、トイレトラックの導入を検討する考えはあるか。</p> <p>4 三島市はたすけあいジャパンを知っているか。また、このたすけあいジャパンの「災害派遣ネットワーク」への、加盟を検討されたことはあるか。ないとしたらその理由は何か。</p> <p>5 このような現状を、三島市はどのように受け止めているのか。</p>	
質問事項 2	中学生みらいミーティングでの学校給食への意見について
具体的内容	
<p>三島市議会の初めての試みとして「中学生みらいミーティング」を開催いたしました。参加してくれた9人の中学生は、議場での説明を受けた後、グループに分かれてワークショップを行い、日頃感じていることを率直かつ真剣に話し合ってくれました。</p> <p>いろいろな課題を提案してくれましたが、その中で「学校給食」について多くの意見が出されました。とりわけ、給食の食べ残し（残渣）に関する課題意識が強く示されました。</p>	
<p>1 本市の小学校・中学校における給食の残渣率は、現在どのような状況になっているか。</p> <p>2 給食で自由に使用できる“ふりかけ”を提供することは可能か。また、児童生徒が自宅からふりかけを持参することを認めることは検討できないか。</p>	